

旅行行程

- 19:05 ● ゆづくしSalon 一の坊
19:10 ● 大江戸温泉物語 Premium 仙台作並
19:20 ● 湯の原ホテル
19:25 ● La楽リゾートホテルGG
20:00 ● 定義如来西方寺
21:00 ● 定義如来西方寺 出発
21:30 ● La楽リゾートホテルGG
21:35 ● 湯の原ホテル
21:45 ● 大江戸温泉物語 Premium 仙台作並
21:50 ● ゆづくしSalon 一の坊

6/25 6/26 6/27 6/28 6/29 6/30 7/1 7/2
水 木 金 土 日 月 火 水

主催：作並温泉旅館組合

仙台・作並温泉
ゆづくしSalon
一の坊

Premium 仙台作並

湯の原ホテル

La楽リゾートHotel
Green Green

旅行企画・手配：(株)旅日記

【宮城県知事登録旅行業 第3-332号】

〒980-0014 仙台市青葉区本町一丁目1番8号 第一日本オフィスビル 5F
TEL. 022-296-1170

作並・定義 ほたる・バスの旅

仙台的
初夏

ほたるの光

心安らぐほたるの瞬き

夏の雪

鑑賞編

ホタル鑑賞でのお願い

夏の宵、幻想的な光を放ちながら舞うホタルを
ゆったりと眺めるのは昔からの日本の風物詩です。

●ホタルは連れて帰らない

ホタルは希少な生物です。

弱ってしまうので手で触れたり、つかまえたりしないで下さい。

●堀や茂みに入らない

ホタルやえさのカワニナを踏んでしまう可能性があります。

堀や茂みはホタルの生活の場です。

●灯り、スマホ、ライトをつけない

ホタルが明るさに驚き、光を出さなくなります。スマホのライト
より幻想的で美しいホタルの光を鑑賞しましょう。

●静かに鑑賞しましょう

都会の喧騒から離れて、自然を楽しんで下さい。

近くに民家もありますのでお静かに。

●当然のことですが、ホタルに虫除けスプレーは厳禁

定義ホタルの里づくり実行委員会活動紹介

幼虫飼育

定義ホタルの里づくりでは、ゲンジボタルの採卵、幼虫飼育、
終令幼虫の放流を行いながら、ホタルの生育について研究を
しています。

また、餌となるカワニナの飼育も行っています。



生息地管理

定義ホタルの里には、自然発生のホタルがたくさんいます。

ホタルの環境保護は、永くホタルを楽しむためには大変
大切なことです。

定義の里から二度とホタルの姿を消さないために地域の
協力をいただき活動しています。



ホタル関連イベント開催

多くの方に、ホタルの神秘的な美しさを守り、知っていただく
イベントを開催しています。

- ・4月上旬 …… 幼虫放流
- ・6月下旬～ …… 定義ホタル観覧会、定義ホタル祭り
- ・その他体験会

※気象状況により変更、中止もあります



ホタル学習会

学校等での出前講座、飼育指導も行っています。また、
ホタルの里観を人数限定で行っています。飼育に関心のある方は、
お問合せ下さい。



定義ホタル祭り

主催：大崎四季探検

主管：定義ホタルの里づくり実行委員会

共催：定義観光協会・定義町内会・仙台観光国際協会

ホームページ：<http://www.shikitanken.com/>

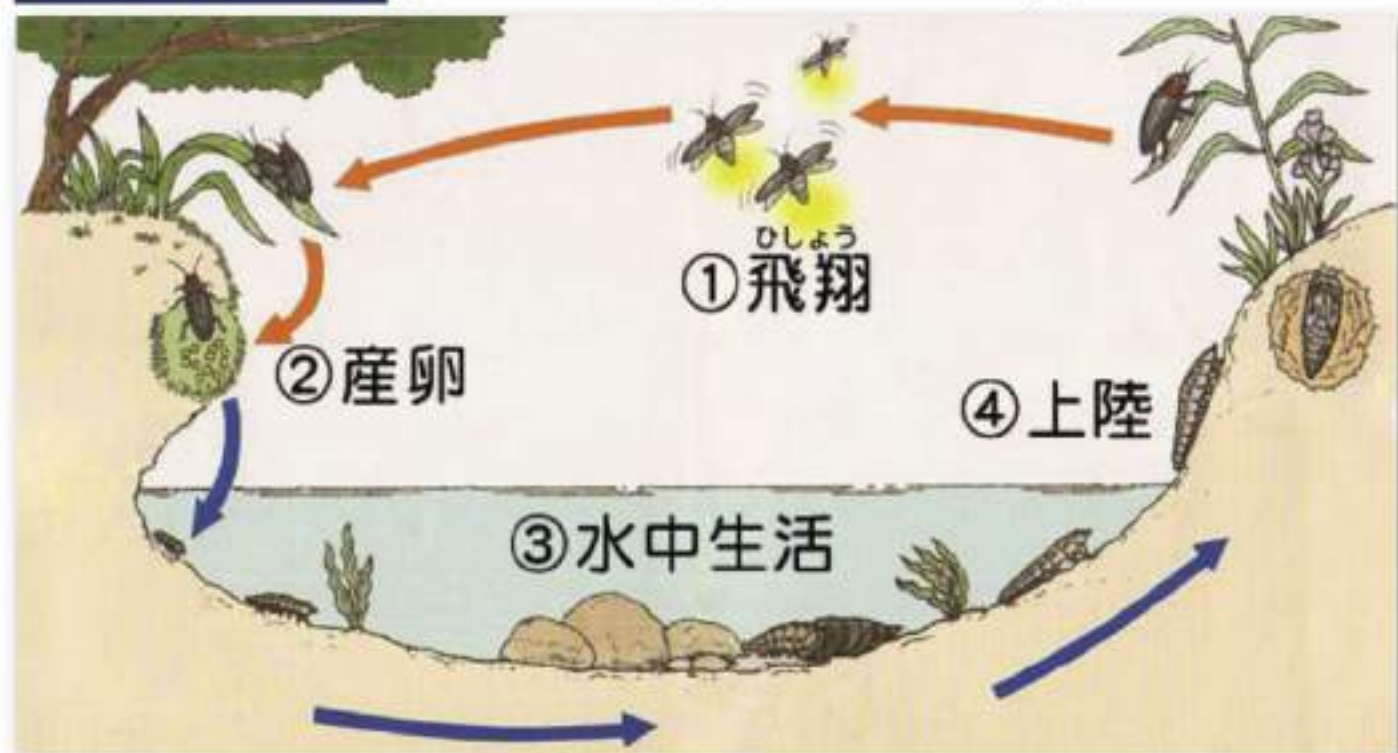
定義のホタル

定義のホタルは、定義地域の田園風景が消えた頃から一時姿を消しました。原因は、大量の生活雑排水の流入、ゴミの増加、掘りの手入れがされなくなったことでした。

定義にホタルを取り戻そうと、平成元年頃から始まった地域の活動により、ドジョウ、トンボ、オタマジャクシなどが戻り、平成17年夏、数十年ぶりに定義門前を飛ぶホタルを確認し、翌平成18年には前年の子ホタルが多数飛ぶようになりました。

ホタルの一生

(ゲンジホタルの一生をイラストにしました。)



(イラスト引用：NPO ホタルの会ホームページより)

【ゲンジボタルの生育に適した環境】

- ① 餌となるカワニナなど巻き貝が生息できる水環境。
- ② 幼虫が容易に上陸出来る場所。
- ③ サナギの間、踏みつぶされない場所。
- ④ 成虫になったとき林や藪草など昼間休む場所があるところ。
- ⑤ 産卵できる場所。

- ・ このようにホタルが生息できる環境は、多くの条件が必要です。特に水環境はホタルだけでなく餌となるカワニナにとっても重要な要素です。
- ・ 1匹のゲンジボタルの幼虫が一生の間に食するカワニナの数は25個から30個と言われ、多くのホタルが成長するには多くのカワニナが生存できる環境が大切です。
- ・ ヘイケボタルは、カワニナ以外の水生巻き貝も食し、ゲンジボタルほど生存環境は限られませんが、1匹のメス蚩の産卵数は約50個程度と少なく、成虫の数もあまり多くないので、環境保全はより一層大切になります。
- ・ ヒメボタルは、ゲンジボタル・ヘイケボタルとは異なり陸棲のホタルです。森林開発等によりすぐに消滅します。現在生息している所は大変貴重な場所といえます。

(引用：大倉四季探検より)

ホタルの種類

日本には、40種類以上の蛍の仲間があり、定義地域では下記の4種類のホタルを観察することができます。

【ゲンジボタル】

日本産ホタル類では大型種。仙台周辺では、6月下旬から7月中旬に観察できます。

定義では、市内より1～2週間遅れて出現します。

幼虫は堀など流域にすみ、カワニナを捕食します。

定義で見られるホタルのほとんどはゲンジボタルです。



【ヘイケボタル】

ヘイケボタルの幼虫は、流れのひじょうに穏やかな小川や水田、沼、湿地等に生息。

ゲンジボタルの約半分の大きさ。

幼虫はカワニナのほかタニシ、モノアラガイなど様々な巻貝類を捕食します。

成虫の出現期間は、7月上旬から8月頃。



【ヒメボタル】

陸棲のホタル。

幼虫は林床にすみ、マイマイやキセルガイなどを捕食します。

大きさは、ヘイケボタルより小さい。

6月から8月に羽化し、森林内など人目につきにくい場所で光る。

メスは飛行できない。



【オバボタル】

幼虫の時に光りながら陸棲するホタルの仲間です。

成虫は昼行性でほとんど発光しないホタルです。

大きさは、ゲンジボタルほどあります。

大きな触角が特徴です。

